

6.7 実践 CTF

[開講科目名]

(授業科目)高度セキュリティ PBL III / (enPiT-Pro) 実践 CTF

[単位数] 1 単位

[開講日]

(調整中)

[担当教員]

園田 道夫((独)情報通信機構), 新井 悠(トレンドマイクロ(株)), 宮地 充子(大阪大学), 河内 亮周(大阪大学)

[授業の目的・概要]

本科目では情報セキュリティ分野における各種のカテゴリの習熟度を確認するための演習に取り組む。

情報セキュリティ分野の技能検定については、筆記による情報処理試験やその他民間の試験がよく知られている。一方で、実践的技能を自ら主体的に判定する方法として Capture The Flag 方式の問題を実際にプログラム開発などを通じて解き、得点を獲得する手法がある。本科目においては、まず CTF に取り組むための基礎的な知識を演習形式で学習する。その上で、CTF 形式の演習に取り組むことで、参加者の実践的技能が十分に獲得できている科目と、そうでない科目を経験として得ることで、さらなる自らの技能向上に取り組むための一助とする。

[授業の目標]

情報セキュリティ分野に関する実践的技能を自主的に向上させていく能力を養成する。

[知識単位]

CTF, バイナリ, ヘッド, メタデータ, 通信プロトコル, フォレンジック

[履修条件・受講条件]

情報セキュリティへの興味関心 一般的な PC 操作技能 プログラミングの経験

[参考文献]

1. 清水 祐太郎ほか著「セキュリティコンテストのための CTF 問題集」マイナビ出版
2. 碓井 利宣他著「セキュリティコンテストチャレンジブック -CTF で学ぼう! 情報を守るための戦い方-」マイナビ出版

[成績評価]

【評価の観点】情報セキュリティへの学習意欲と実習の結果

【評価方法】レポートおよび演習により総合的に判断する

【評価基準】レポート(70%) + 演習(30%)